

ACTIVITY REPORT



2025
7
VOL.65

未来へつなぐ職場体験

6月2日・3日の2日間、八千代市立村上東中学校の2年生4名の生徒の皆さまが、TOAシブルで職場体験を行いました。

初日は工場見学に加え、「シブルの丘」でのミツバチ観察と採蜜体験を実施。2日目は、広報活動の一環として、工場見学や採蜜体験をもとに新聞づくりに挑戦し、さらにSDGsについて考える時間も設けました。

工場内の機械が稼働する様子や、ミツバチを間近で観察したり採蜜体験に興味津々。鋭い質問や素直な感想もたくさん寄せていただきました。未来を担う若い世代と過ごす中で、私たち自身も多くの気づきや刺激を受け、企業活動のあり方を改めて見つめ直す貴重な機会となりました。この2日間の経験が、いつか皆さんの人生のどこかで役に立つことを願っています。

TOAシブルでは、近隣の学校を中心に環境に関する出前授業を実施しています。

今後もこうした活動を通じて、持続可能な社会づくりに貢献する「ESD（持続可能な開発のための教育）」の推進に取り組んでまいります。



シブルの丘に希望のひまわりを

TOAシブル内の「シブルの丘」に、ひまわりの種を植えました！

今回植えた種は、福島県のNPO法人シャローム様が実施している「ひまわりプロジェクト」への参画により、いただいたものです。

TOAシブルは、社会貢献活動の一環としてこのプロジェクトに参画しており、今年で4年目の取り組みとなります。

■ひまわりプロジェクトとは

ひまわりを通じて、全国の地域と地域がつながり、東日本大震災で被災した福島県を応援する取り組みです。

参加者がひまわりの種を育て、咲いた花から採れた種をプロジェクトに還すことで、「ひまわりオイル」という製品へと生まれ変わります。

このひまわりオイルの売上は、障がいのある方の支援や、福島県の子どもたちへの社会体験活動に活用されます。

私たちが植えたひまわりも、やがて大きく育ち、次の希望のタネになります。開の日が今から楽しみです。

今後も、ひまわりの成長の様子をお届けしてまいります♪



印旛沼 水草再生プロジェクト始動

絶滅危惧の恐れがある水草4種の植栽作業を行いました。

この活動は、「印旛沼モグリウム・プロジェクト」の一環です。

「モグリウム」とは、

「モグ（水草）」＋「アクアリウム（育成環境）」

を組み合わせた造語で、印旛沼の泥の中に眠る“埋土種子（まいどしゅし）”を発芽・育成する水槽のことを指します。かつて絶滅した水草をこの種子から再生し、印旛沼の自然へと還すことを目指しています。

今回当社に届いた水草も、印旛沼の土の中で静かに眠っていた種を丁寧に育て直した、非常に貴重なものです。

印旛沼は、私たちTOAシブルが本社を構える八千代市の大切な水源。

近年では外来種の影響により、生態系のバランスが崩れつつあり、保全活動の重要性が増しています。

目立たない小さな“いのち”に光をあて、未来へつなぐ。

水草を育てるこの活動も、私たちにできる環境保全のひとつだと考えています。



株式会社 TOAシブル

千葉県八千代市上高野1728-5

ACTIVITY REPORTに関する
お問い合わせ

▼
press@toaxible.com

TOAシブル
サステナビリティ推進室